

くまんち便り

VOL.5

発行者 生物多様性調査研究所「くまんち」

文責 田勢美代子 2010, 3, 5

2010 年を迎えてはじめての通信になります。今年は、皆様にとってどんな一年になるでしょうか。「くまんち」の一年はきっと昨年同様忙しい一年になることは間違いなしです。いずれにしても健康で楽しく活動でき、動物にとっても人間にとっても幸せな一年であることを願っています。

さて、「くまんち」では昨年末頃から地元で自然保護活動をしている仲間達と風力発電について勉強会を重ねてきました。と言いますのも、会津若松市東部に位置する背あぶり山というところに風力発電が10基ほど建設される計画が持ち上がり、一体、風力発電とはどういうものなのか、また建設するにあたりどのくらい自然環境に負荷を与えるのかなどを調べました。調べを進めていくうちに様々な問題が全国各地で起こっていることが分かりました。風力発電は環境に優しいイメージで、石油燃料に替わる新しいエネルギーということで国をあげて推進されていますが、やはりこのようなものにはいい面もあればよくない面もあるということですね。今、すでに建設された風力発電施設によって引き起こされる健康被害が全国各地で問題になっており、訴訟にまで発展しているところが多いです。風力発電施設から発せられる低周波により、不眠、イライラ、頭痛、等々、また、家畜の牛に奇形が産まれたり、流産したりと、今までになかったことが次々と起こり始めているそうです。また「バードストライク」と言って貴重な猛禽類(イヌワシ、クマタカ)なども風力発電のブレード(羽)によって体が真っ二つに引き裂かれたり、小さなコウモリも風力発電による急激な気圧の変化で内臓破裂を起こして死んでしまうなど野生動物たちに多くの被害を与えています。

山に建設される場合は大量の森林が伐採され、野生動物にとっては餌場や住処が失われるばかりか、丸裸になった表土からは土砂が崩れ出すという現象が起きています。

巨大化していく風力発電は本当にエコなのでしょうか……。

エネルギーに頼らなければ生きていけない私たち人間ですが、新たなエネルギーに依存しすぎているのかもしれないね。エコという言葉に踊らされているそんな気もいたします。豊かさが当たり前になってしまった現代、私自身にも言えることですが自分自身の生活を少しばかり見直して今度は少しずつ減らしていく努力もしていかなければと思っています。

～ご報告～

生物多様性調査研究所「くまんち」では、今後、「背あぶり山風力発電施設開発事業」について他団体の方と共に「背あぶり山風力発電を考えるネットワーク」を立ち上げ、地元行政や市議会等と十分に話し合いを重ねていくことになりました。



【12月1月2月の活動】

- 12月15日** 風力発電の勉強会を行いました。 **1月7日** 交通事故にあった犬(クロちゃん)を保護、治療を行いました。
- 12月20日** くまんち FC
プール清掃、冬になるので水抜きを行いました。その後、一年間の活動を
労い忘年会を行いました。 **1月10日** 山を視察。今後の活動の
フィールド探し。
- 2月15日** 風力発電問題ミーティング **1月17日** くまんち FC
冬眠小屋(寝床)のワラを
新しく代えました。
- 2月19日** 市長と市民の懇談の日
風力発電施設の問題点について市長と
懇談する。その後、すでに建設されている
布引山風力発電所を視察する。 **ふくまつもマックも夜は寝床で
排泄するようです。真冬の寒さに
夜は寝床から出たくないようです。**
- 2月21日** くまんち FC **1月30日** くまんち野生動物診療所の典子
先生が地元タウン誌「ボイス」の
取材を受けました。
- 2月28日** 風力発電問題ミーティング

《冬のクマたちの様子～ふくまつ編～》

おそらく多くの方は冬になるとクマは冬眠するものと思っていることでしょう。秋に十分栄養の摂れた野生のクマさんは森の中でひっそりと冬眠していると思います。ところが「くまんち」のクマさんは……。ふくまつ君は今年も冬眠しませんでした。動きはかなり緩慢になるのですが、朝、給仕しに行くと、まだ遊び場には出ていません。そっと冬眠小屋をのぞくとワラの上でうつぶせになりポ〜ッとしています。そして私たちの存在に気付くと大あくびをしながらのそのそと遊び場へ出てきます。両手を鉄のスライド扉の上へのせ、ググッと上体反らしをします。そして片足ずつピーンと後ろへ伸ばします。なんとも人間のようです。今年の冬は雪がとて多く、オリの中にもたくさん雪が積まりました。ふくまつは雪が大好きです。新雪の雪はとてふかふかしていてふくまつも雪の上を歩くのがとて楽しそうでした。こっそりふくまつの行動をみていたら突然ゴロンとでんぐり返しをしているではありませんか……。それも連続で……。体中に雪を付け、ゴロンゴロンと何回転もしています。しかし、残念なことに体がコロコロ太っているせいか、上手にでんぐり返しができません。頭から回転せず、どうしても肩から斜めに転がってしまいます。アレレレ……。でも、とて楽しげに転がっています。声をかけてみたら余計にハッスルしてしまい、ますます転がっていきます。まるで小さい子供が「お母さん見てよ」と言わんばかりに調子に乗って雪の中を転がっていくのでした……。

活動に参加して下さった方々、本当にお疲れ様でした。今後もたくさんの方々の参加を

お待ちしております。

